

2020年3月期第2四半期（累計）

（2019年4月1日～2019年9月30日）

決算説明会資料

2019年11月18日

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社

証券コード9686



てくまる

2020年3月期第2四半期 決算トピックス	3
2020年3月期第2四半期 決算の概要	5
2020年3月期第2四半期 決算 業績推移	14
株式の状況及び配当金の推移	16
対処すべき課題に向けた取組み	19
当社グループの取組み（トピックス）	26

2020年3月期第2四半期 決算トピックス



1 9期連続で増収

- ・ 中間期ベースで9期連続増収、過去最高売上を更新

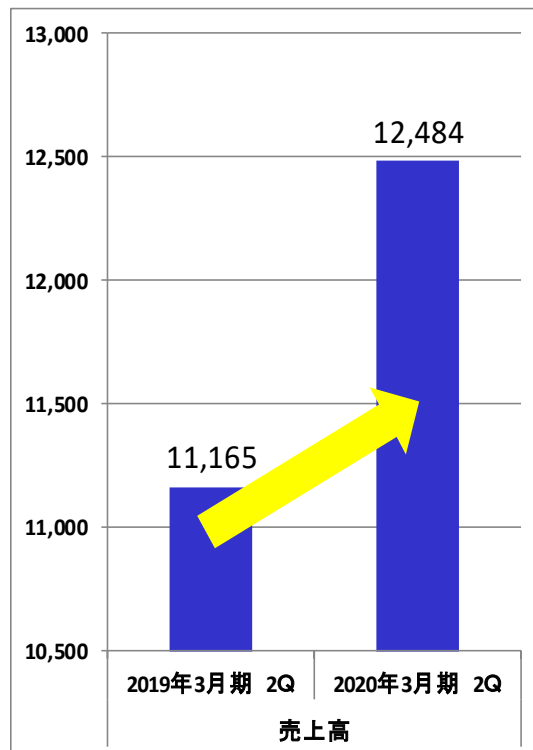
2 常駐警備、工事・機器販売、不動産の業績寄与

- ・ G20特需による常駐警備に加え、機器販売、不動産事業が好調

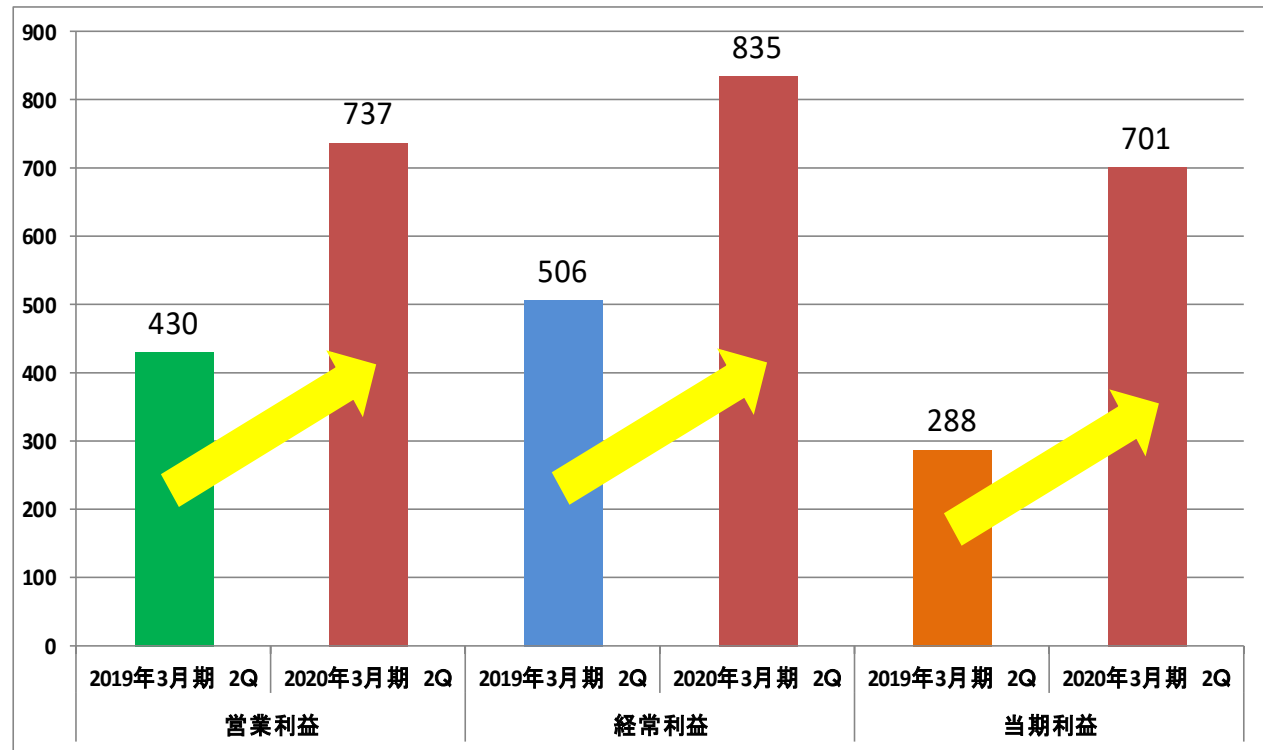
3 当期利益大幅増

- ・ M&Aに係る特別利益計上等により、当期利益ベースで大幅な増益

(単位：百万円)



(単位：百万円)



2020年3月期第2四半期 決算の概要



決算の概要

東洋テック

(単位：百万円、%)

	2019/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	前年度比 (増減率)	2020/3 下期見込	2020/3 (期初公表数値)	2020/3予想 (修正公表数値)	2020/3予想 前年度比(増減率)
売上高	11,165	12,484	11.8%	12,415	24,500	24,900	7.2%
営業利益	430	737	71.2%	462	1,100	1,200	16.6%
経常利益	506	835	64.8%	544	1,280	1,380	14.6%
親会社に帰属 する 純利益	288	701	143.6%	128	750	830	17.6%
1株当たり 純利益	27円05銭	66円94銭	147.4%	—	71円01銭	78円58銭	—

セグメント別売上高及びセグメント利益の概要

警備事業	売上高は、金融機関の値下げにより機械警備・ATM管理が減少し、その他警備の停解業務・「みまもり安心コール」も減少しましたが、G20特需を含め、常駐警備や機器販売が好調を維持したことから増収となりました。セグメント利益は、人手不足と働き方改革への対応策を実施した結果、人件費が大幅に増加し、減益となりました。
ビル管理事業	売上高は、スポット工事受注が増加した他、森田ビル管理のグループ入りにより増収となりました。セグメント利益は、人員増や処遇改善への取組の他、森田ビル管理子会社化に伴う一過性の費用が増加したことから、微増となりました。
不動産事業	売上高は、3月に取得したビジネスホテルや森田ビル管理が保有する収益物件からの賃料収入に加え、大型不動産案件の成約もあり、増収。セグメント利益は大幅な増益となりました。

(単位：百万円)

区分	2019／3 2Q実績		2020／3 2Q実績		前年同期比	
	外部顧客への売上	セグメント利益	外部顧客への売上	セグメント利益	外部顧客への売上	セグメント利益
警備事業	8,335	279	8,561	252	225	△27
ビル管理事業	2,685	69	3,433	73	747	3
不動産事業	144	62	490	390	345	327
調整額	—	19	—	21	—	2
合計	11,165	430	12,484	737	1,318	306

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものです。

TEC単体及び子会社各社の業績

東洋テック

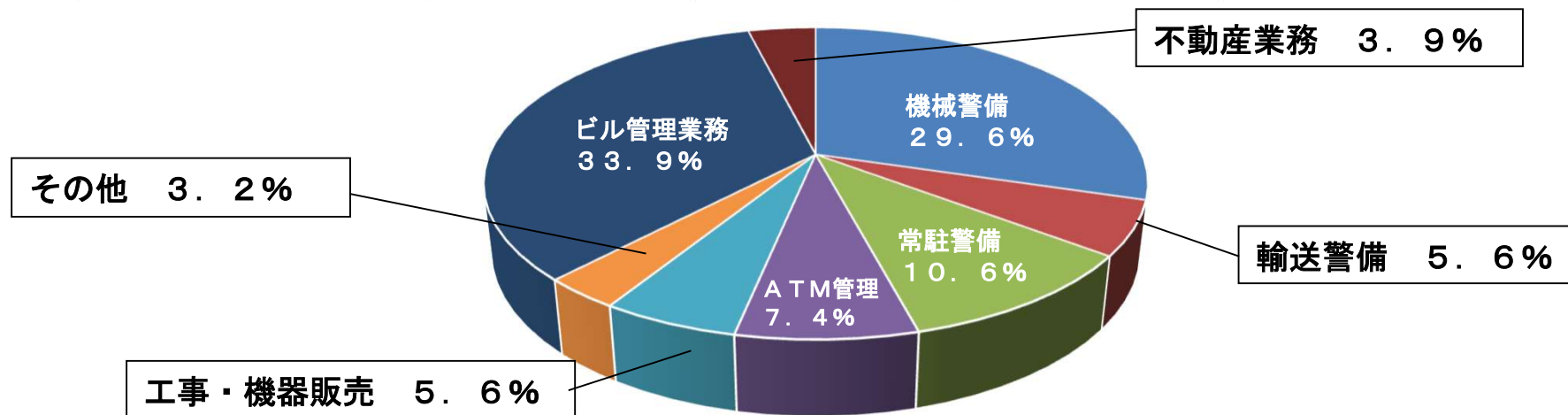
(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	2019/2Q	2020/2Q	2019/2Q	2020/2Q	2019/2Q	2020/2Q	2019/2Q	2020/2Q
東洋テック	8,175	8,402	239	239	450	465	301	332
東警サービス	754	753	43	26	51	33	33	22
東洋テック姫路	484	556	53	62	53	62	33	38
テックビルサービス	2,084	2,309	34	67	35	68	22	43
大阪フジサービス	615	590	36	24	38	26	24	18
共同総合サービス	488	506	16	11	16	11	10	7
テック不動産	31	346	△10	309	△10	309	△7	209
森田ビル	—	553	—	△33	—	△5	—	69
連結業績	11,165	12,484	430	737	506	835	288	701

業務別売上高の状況（連結）

（単位：百万円、％）

	2019/3Q	2020/3Q	前年度比	前年度比 (増減率)
警備業務	7,587	7,760	172	2.3%
機械警備	3,710	3,699	△ 11	-0.3%
輸送警備	686	703	17	2.5%
常駐警備	1,230	1,318	88	7.2%
ATM管理	943	929	△ 14	-1.5%
工事・機器販売	594	704	110	18.6%
その他	423	405	△ 18	-4.3%
ビル管理業務	3,432	4,233	801	23.3%
不動産業務	144	490	345	238.2%
合計	11,165	12,484	1,318	11.8%



業務別売上高5年間の増減

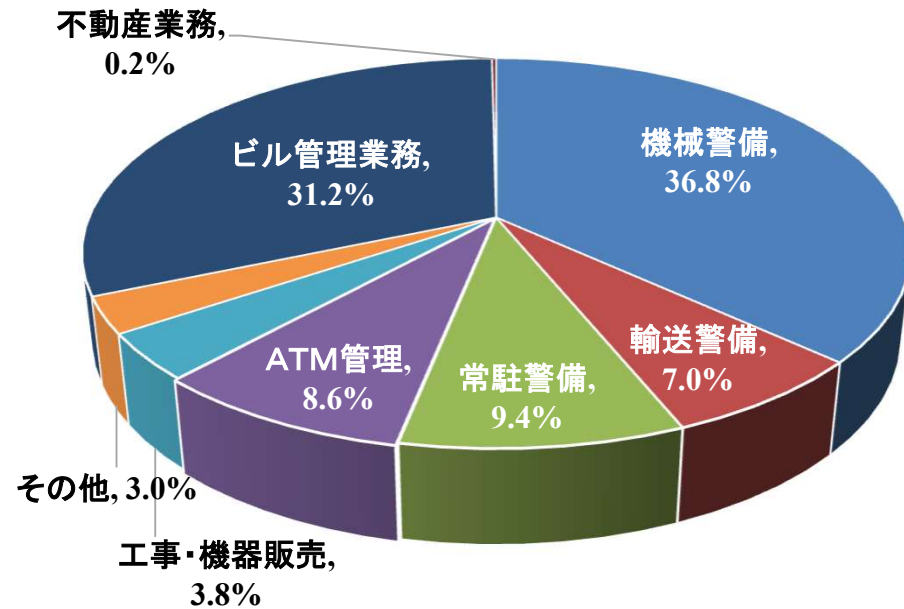
(単位：百万円、%)

	売上高				売上高構成比率(%)		
	2015/3 2Q	2020/3 2Q	5年間の 増減額	5年間の 増減率	2015/3 2Q	2020/3 2Q	5年間の 増減
警備業務	6,649	7,760	1,111	16.7%	68.6%	62.2%	△6.4%
機械警備	3,564	3,699	135	3.8%	36.8%	29.6%	△7.2%
輸送警備	679	703	24	3.5%	7.0%	5.6%	△1.4%
常駐警備	906	1,318	412	45.5%	9.4%	10.6%	1.2%
A T M管理	836	929	93	11.1%	8.6%	7.4%	△1.2%
工事・機器販売	369	704	335	90.8%	3.8%	5.6%	1.8%
その他	291	405	114	39.2%	3.0%	3.2%	0.2%
ビル管理業務	3,020	4,233	1,213	40.2%	31.2%	33.9%	2.7%
不動産業務	17	490	473	2782%	0.2%	3.9%	3.7%
合 計	9,687	12,484	2,797	28.9%	100.0%	100.0%	0.0%

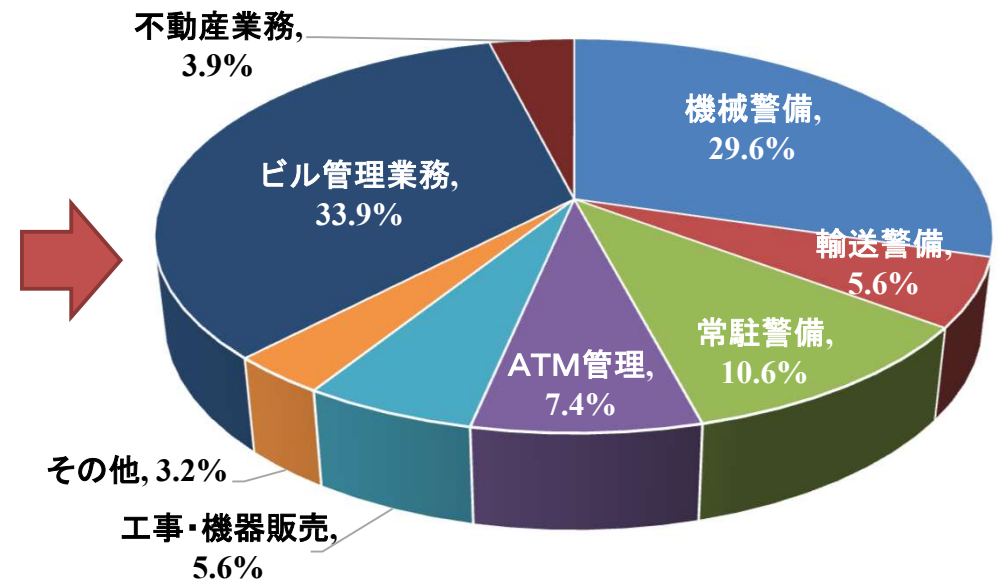
業務別売上高構成比5年間の増減

(単位：百万円、%)

2015/3 2Q 売上高構成比率(%)



2020/3 2Q 売上高構成比率(%)



営業費用・原価費用の状況

東洋テック

(単位：百万円、%)

	2019/3 2Q	2020/3 2Q	前年同期比	
	金額	金額	前年同期比	増減率
人件費	5,142	5,579	436	8.5%
物件費	1,606	1,612	5	0.4%
減価償却費	382	373	△ 9	-2.5%
のれん償却額	57	43	△ 13	-23.2%
賃貸用不動産償却費	19	31	12	63.6%
不動産事業費用	28	27	△ 1	-5.2%
警備外注費	2,985	3,472	486	16.3%
機器保守外注費	33	37	3	11.1%
貸倒引当金繰入	△ 0	2	3	—
営業費用合計	10,255	11,180	924	9.0%
工事発注費	99	112	13	13.3%
機器仕入代	380	455	75	19.7%
工事機器費用計	479	567	88	18.4%
販管・原価費用合計	10,735	11,747	1,012	9.4%

(ご参考) 経営指標の推移

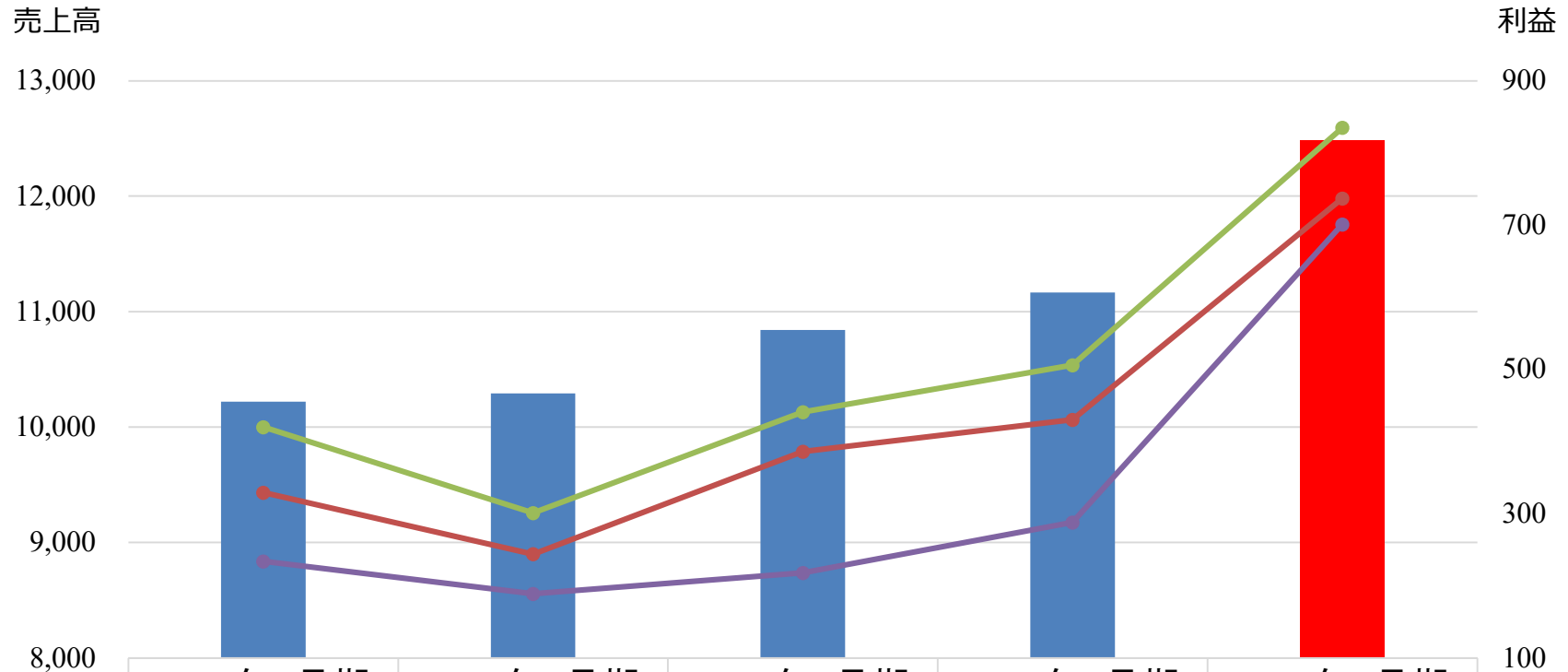
項目		2018/3	2019/3 2Q	2019/3	2020/3 2Q
総資産額	百万円	28,665	29,811	30,868	30,411
純資産額	百万円	20,549	21,179	20,811	21,196
自己資本比率	%	71.7	71.0	67.4	69.7
E P S (1株当たり利益)		56円11銭	—	66円83銭	—
P E R (株価収益率)	倍	21.4	—	17.1	—
1株当たり配当金	銭	26円00銭	—	28円00銭	—
P B R (株価純資産倍率)	倍	0.62	0.63	0.57	0.55
B P S (1株当たり純資産)		1,934円30銭	1,986円16銭	1,984円83銭	2,042円14銭
R O E (株主資本利益率)	%	3.0	—	3.5	—
R O A (総資産純利益率)	%	2.1	—	2.3	—
配当利回り	%	2.2	—	2.4	—
配当性向	%	46.3	—	41.9	—

2020年3月期第2四半期決算 業績推移



(ご参考) 売上高の推移

(単位：百万円)



	2016年3月期 2Q	2017年3月期 2Q	2018年3月期 2Q	2019年3月期 2Q	2020年3月期 2Q
■ 売上高	10,219	10,292	10,841	11,165	12,484
● 営業利益	329	244	386	430	737
● 経常利益	420	301	441	506	835
● 当期利益	234	189	218	288	701

株式の状況及び配当金の推移



株式の状況

東洋テック

(2019年9月30日現在)

大株主上位10社（自己株式994,062株除く）

順位	株主名	所有株式数	持株比率
1	セコム株式会社	2,914,100 株	27.9 %
2	関西電力株式会社	1,535,900 株	14.7 %
3	株式会社関西みらい銀行	451,090 株	4.3 %
4	株式会社りそな銀行	400,000 株	3.8 %
5	A I G損害保険株式会社	335,210 株	3.2 %
6	東洋テック従業員持株会	284,261 株	2.7 %
7	株式会社ユニテックス	257,500 株	2.5 %
8	株式会社ディー・ケイ	250,000 株	2.4 %
9	セントラル警備保障株式会社	241,700 株	2.3 %
10	株式会社三井住友銀行	204,980 株	2.0 %
合 計		6,874,741 株	65.8 %

株式数

発行する株式数	20,800,000 株
発行済株式数	11,440,000 株
自己株式数	994,062 株
一単元の株式数	100 株

株主数

株主数	1,213 名
単元株主数	1,103 名

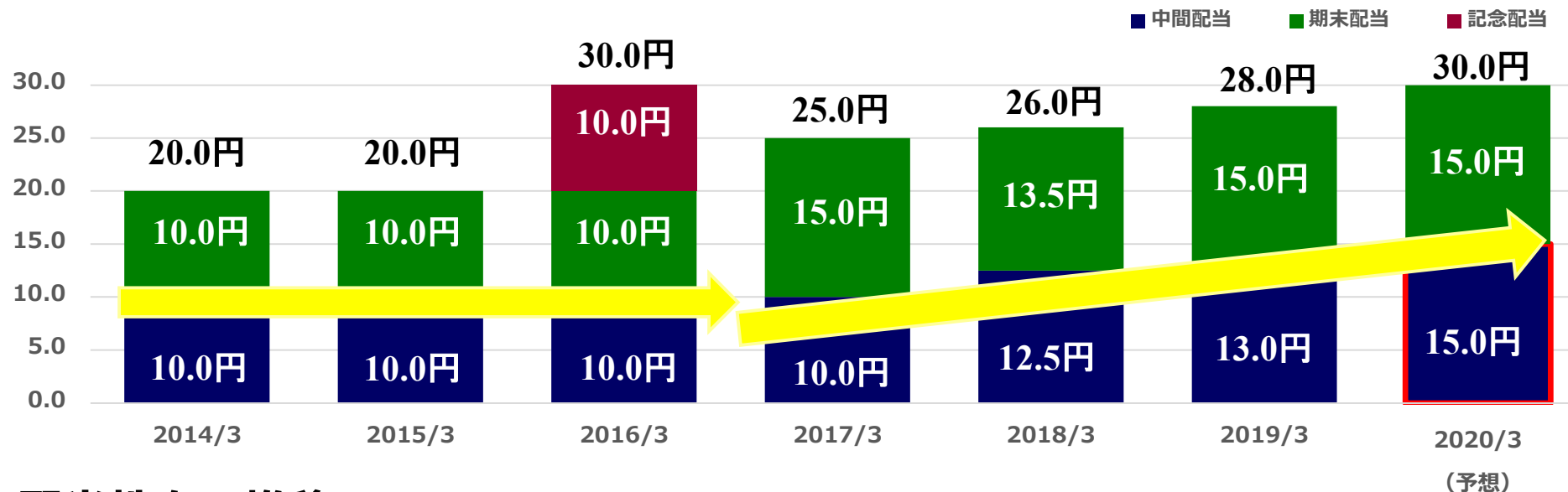
株主数増減（対前年度末比）

株主数	+12 名
単元株主数	+9 名

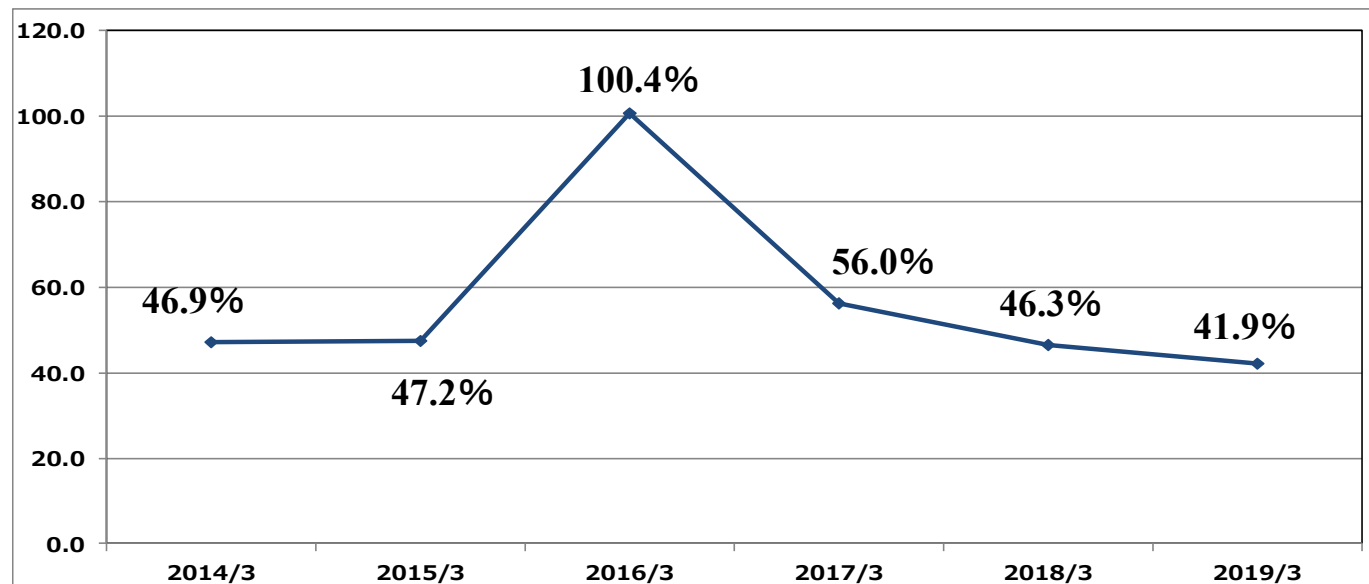
（注）持株比率は、自己株式（994,062株）を控除して計算しています。

また、小数点2位を四捨五入して表示しています。

配当金の推移



配当性向の推移



配当方針
 安定配当に加え、業績に連動した配当を目指します。



対処すべき課題に向けた取組み

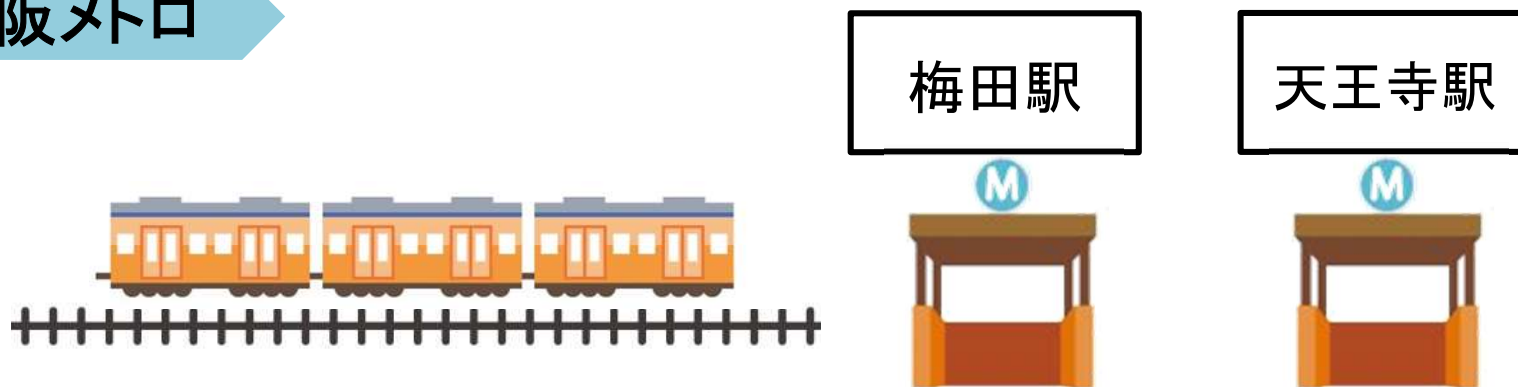


	2020年3月末 第2Q実績 (計画初年度)	2020年3月末 予想 (計画初年度)	2022年3月末 予想 (計画最終年度)
連結売上高	124.8億円	249億円	300億円
連結経常利益	8.3億円	13.8億円	17億円
戦略投資額	(中期経営計画期間総額) 90億円		
配当方針	中間 15.0円	期末 15.0円 年間 30.0円	還元の拡充

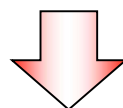
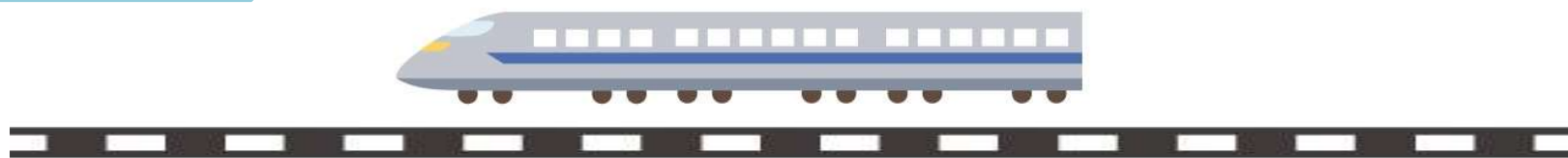
売上拡大・営業力の強化

■ 第三の柱(鉄道)

大阪メトロ



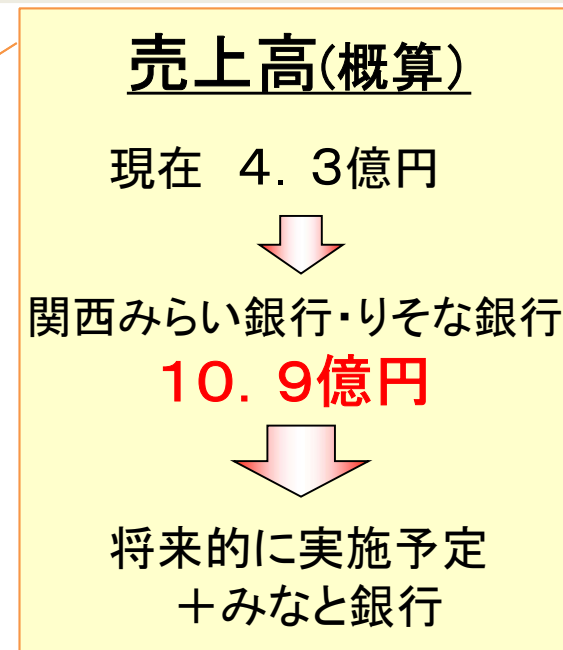
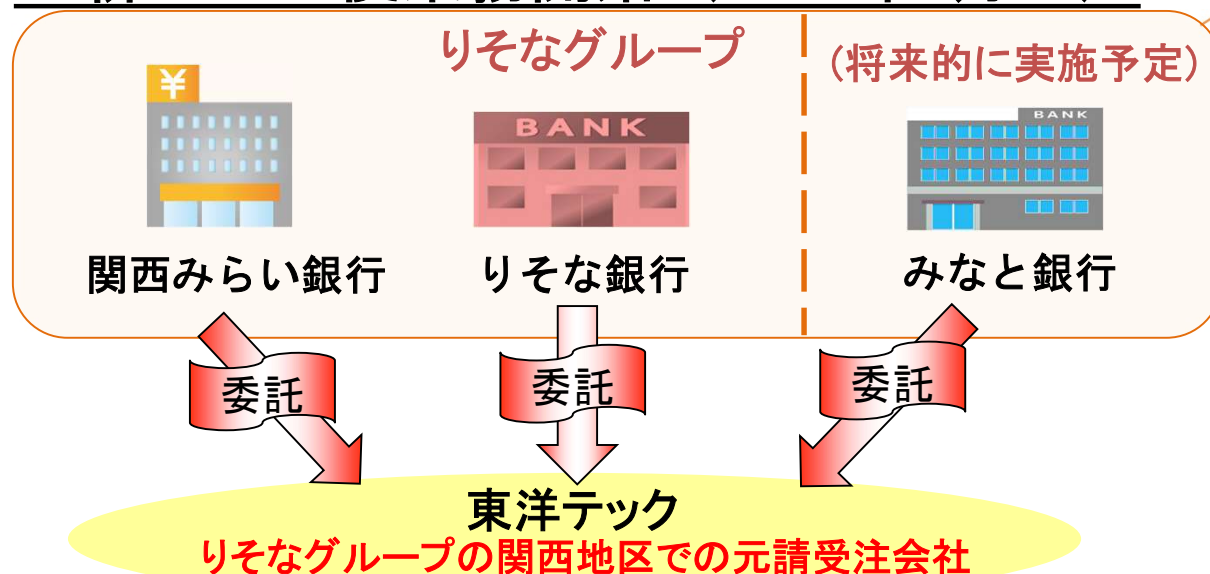
新幹線



鉄道会社との関係強化へ

売上拡大・営業力の強化

■新メール便業務開始（2020年1月～）



■東大阪メールセンターを新設・稼働（2020年9月～）

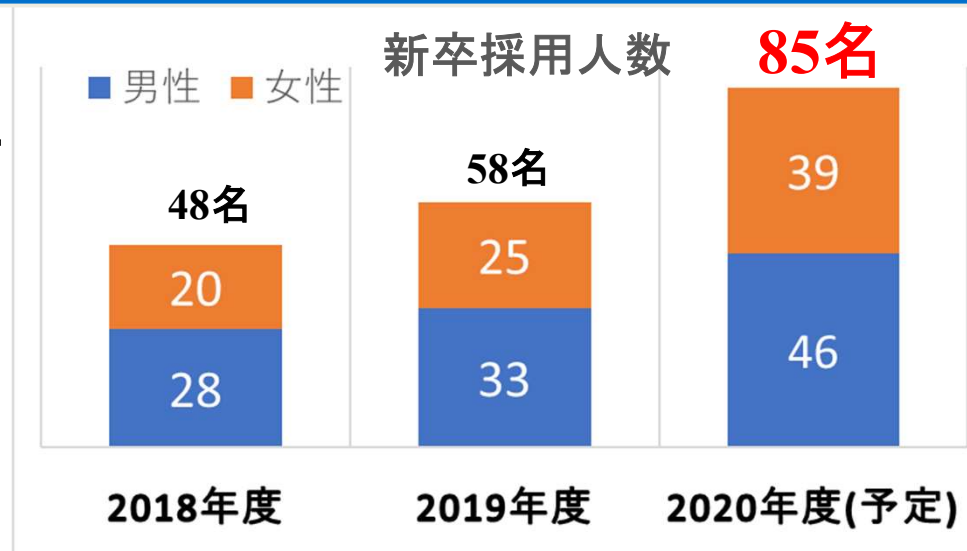


人材調達力の強化

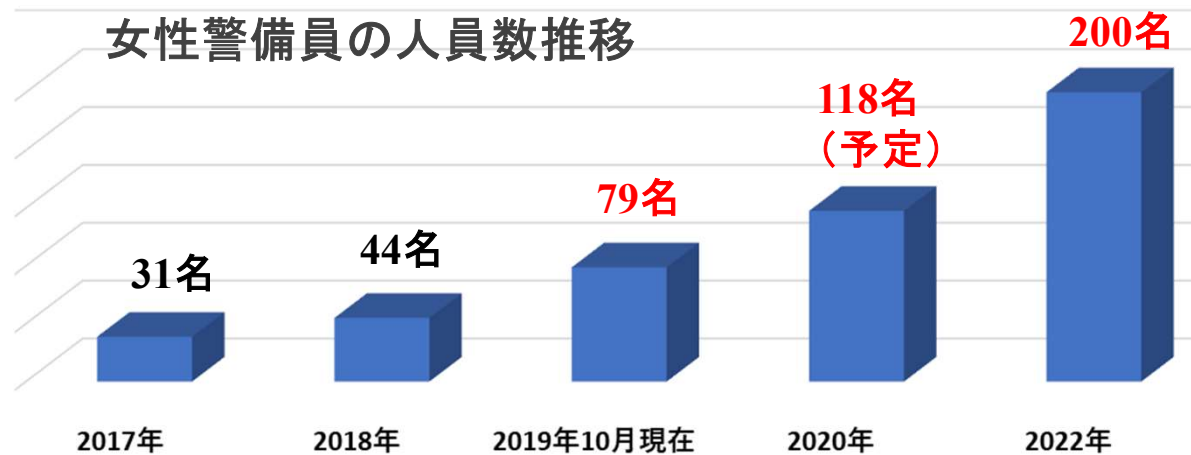
2020年度新卒採用内定者

85名を達成※
(うち女性が45%)

※2019年10月現在



■女性警備員拡充



人材調達力の強化

■働きやすい職場環境作り

- ・健康経営セミナー実施
- ・禁煙外来治療補助金制度



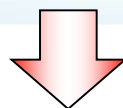
- ・企業主導型保育所提携



■外国人技能実習生拡大

2019年度 入社実績(清掃業務)：4名(グループ会社2社)

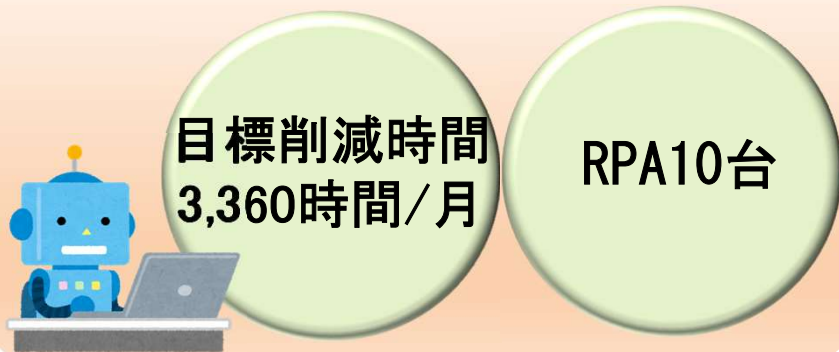
2020年度 採用活動を継続予定：更なる雇用形態の拡大へ



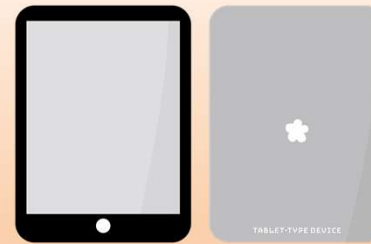
恒常的な人手不足への対策

効率化・合理化の実現

■RPAの開発・活用



■ペーパーレス会議の全社展開

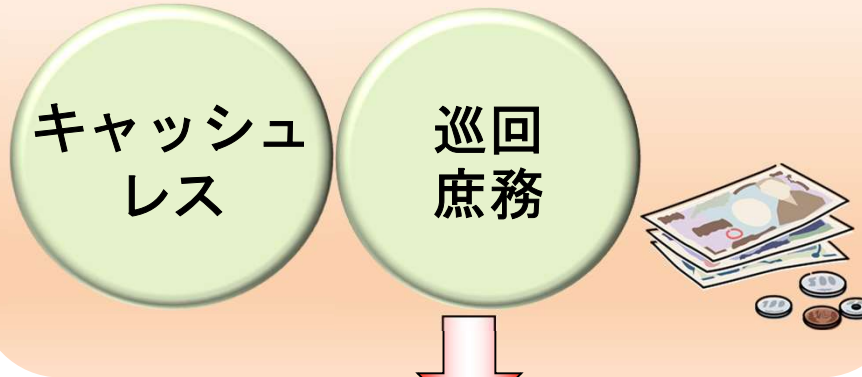


タブレット



プロジェクター

■総務・庶務業務の効率化



グループ全社で事務の効率化・合理化へ

当社グループの取組み（トピックス）



G20関連警備の実施

東洋テックグループ 延べ1,800名を動員

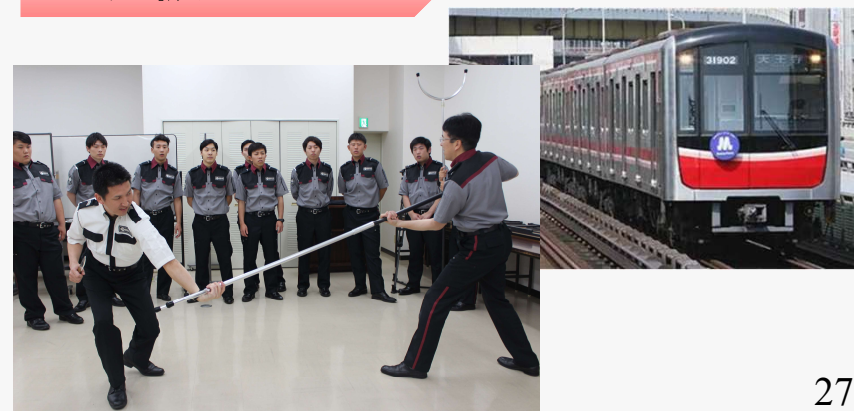
大阪府咲州庁舎



関西国際空港



大阪メトロ



S1 グランプリ 外国人対応も取り入れ、更なる業務品質向上へ



EMI推進室を新設

大阪・関西万博(EXPO)、MICE、IRに関する
情報収集、営業機会の創出

官民連携

専務直轄＋10名

情報
収集

関係
構築

企画

推進



記載内容に関するご注意

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。



人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社